

2018年9月1日 RI2790地区
ロータリー財団委員会
財団セミナー

ロータリー財団の資金を活用し、積極的に
グローバル事業を実施しよう！

グローバル事業補助金委員会



グローバル事業補助金委員会 委員長挨拶

ロータリー財団統括委員会の一員

橋岡ガバナー年度では、グローバル事業補助金委員会の委員長として主にグローバル補助金の担当をいたします。

櫻木英一郎パストガバナーが統括委員長であるロータリー財団統括委員会のひとつの委員会として、財団資金・推進管理委員会や地区補助金プロジェクト委員会などの計6委員会が力を合わせ、皆様と共に2018-19年度RI会長テーマである「インスピレーションになろう」を実現させます。

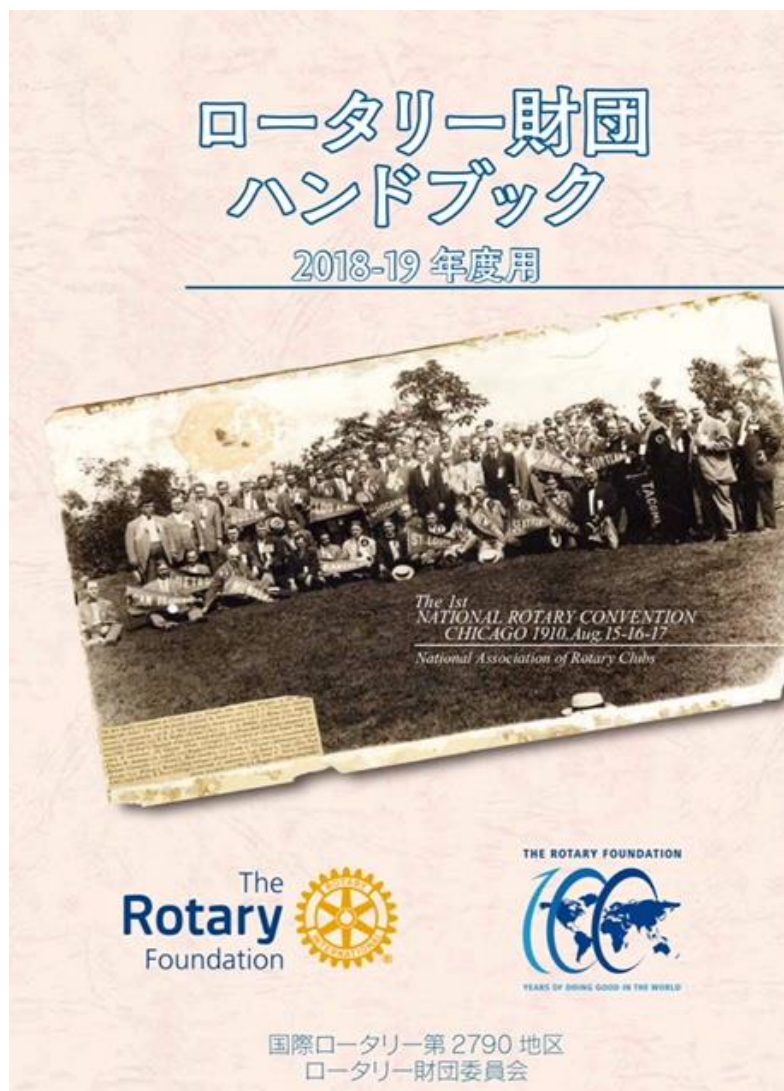
グローバル補助金の目的

グローバル補助金は、ロータリーの6つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。

グローバル補助金による活動の種類

- ① 人道的プロジェクト: 1965年の「ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金のちのマッチンググラントと1978年の3・H保健・飢餓追放・人間性尊重補助金を合わせて2013年の6つの重点項目に合致した事業。
- ② 奨学金: 大学院レベルの6つの重点項目に合致した留学
- ③ 職業研修チーム: 専門職業に関係する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣。1965年の研究グループ交換と技術研修のための補助金が発展したものの。

一年間、どうぞよろしく願います。



グローバル補助金

4-3 グローバル補助金 (GG)

4-3-1 グローバル補助金の概要

目的

グローバル補助金は、ロータリーの6つの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。

グローバル補助金による活動の種類

・人道的プロジェクト

1965年のgrants for activities in keeping with the objective of the rotary foundation「ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金のうちのマッチンググラント (Matching Grant) と1978年の3・H (Health Hunger and Humanity) 保健・飢餓追放・人間性尊重補助金を合わせて2013年の6つの重点項目に合致した事業。

・奨学金：大学院レベルの6つの重点項目に合致した留学

・職業研修チーム V T T (Vocational Training Team)

専門職業に関係する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣
1965年の研究グループ交換 (Group Study Exchange) と技術研修のための補助金 (Awards for Technical Training) が発展したもの。

4-3-2 グローバル補助金 (GG) 要項

補助金の使用条件

- ・人道的プロジェクトの使用にあたっては、活動が実施されるクラブ (地区) とそれ以外のクラブ (地区) がパートナーとなって協力することが求められます。
- ・双方が補助金を申請する前に参加資格の認定を受ける必要があります。
参加資格 ① クラブ会長と会長エレクトがクラブ覚書 (MOU) に同意し署名します。
② 任命を受けた会員が地区主催のロータリー財団補助金管理セミナーに出席します。

・その他の要件：

- *ロータリーの6つの重点分野に該当する事。
 - ・平和と紛争予防 / 紛争解決
 - ・疾病予防と治療
 - ・水と衛生
 - ・母子の健康
 - ・基本的教育と識字率向上
 - ・経済と地域社会の発展
- *プロジェクトが持続可能であり、事業が完成した後も活動成果が長期的に持続する事。
- *成果が測定可能な目標を持っている事。
- *事前に地域社会のニーズを調査する事。
- *ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加する事。
- *補助金の「授与と受諾の条件」に記載された要件を遵守する事。

支給額と支給方法

- ・予算は3万ドル以上40万ドル迄の活動が対象となります。内訳は地区財団活動資金 (DDF) と同額の国際財団資金 (WF)、現金寄付の場合 WF は50%上乗せされますが5%の運営費を負担します。
- ・当地区ではDDFから1プロジェクトに15,000USDを支給します。

グローバル補助金の種類

- 人道的プロジェクト
- 奨学金
- 職業研修チーム

グローバル補助金事業の要件

- 援助国と実施国のロータリークラブが協力して実施する。
- 事業の内容が6つの重点項目に合致している。
- 事業予算が30000 U S D以上の規模である。

重点分野

ロータリーの6つの重点分野とは、



平和と紛争予防／紛争解決



疾病予防と治療



水と衛生設備



母子の健康



基本的教育と識字率向上



経済と地域社会の発展

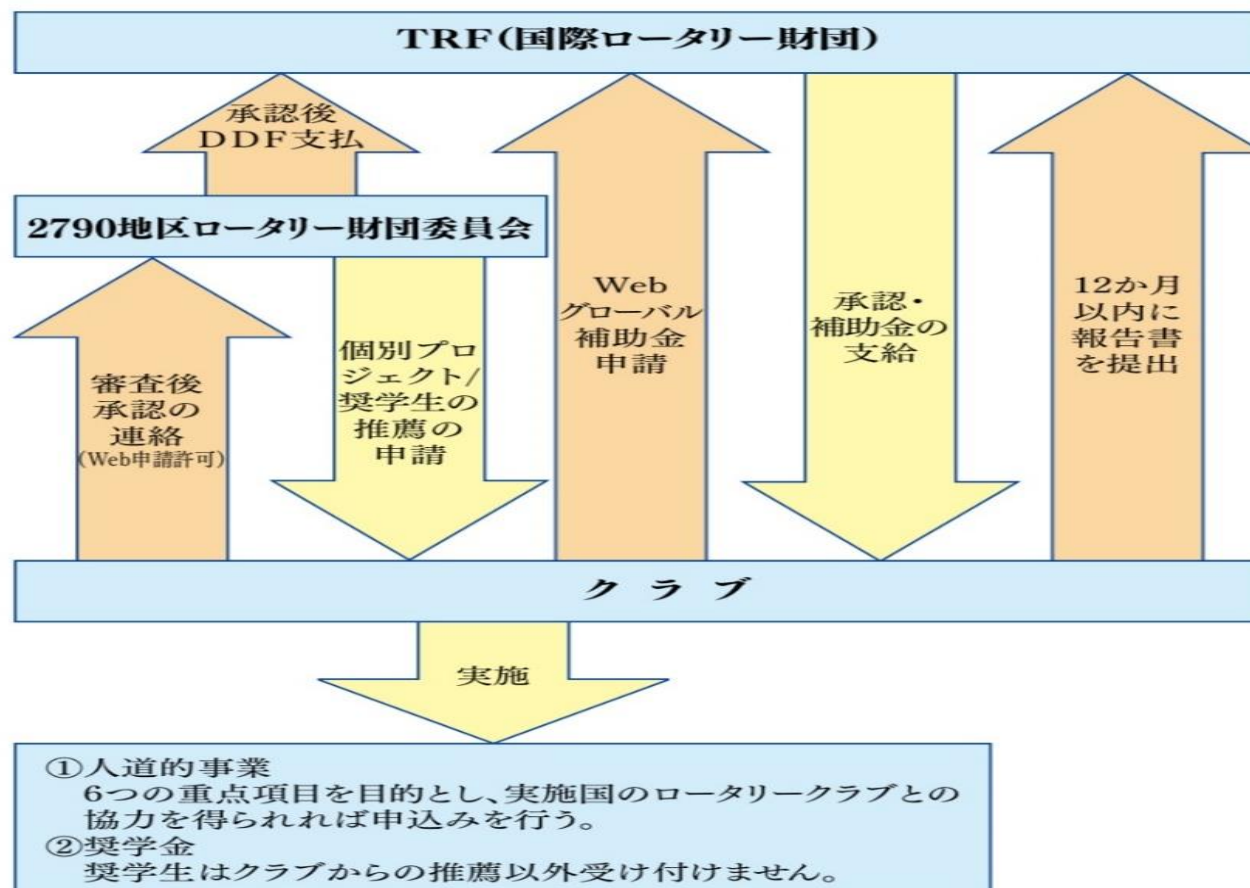
グローバル補助金事業で求められていること

- ①持続可能であり、補助金の資金が使い尽くされた後にも活動成果を長期的に持続させるための計画を含んでいること
- ②測定可能な目標を持っていること
- ③6つの**重点分野**のいずれかに該当すること
- ④地域社会のニーズに応えること
- ⑤ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加すること
- ⑥補助金の「**授与と受諾の条件**」に記載された要件を順守すること。

グローバル補助金の申請

4-3-4) グローバル補助金 (GG) の申請

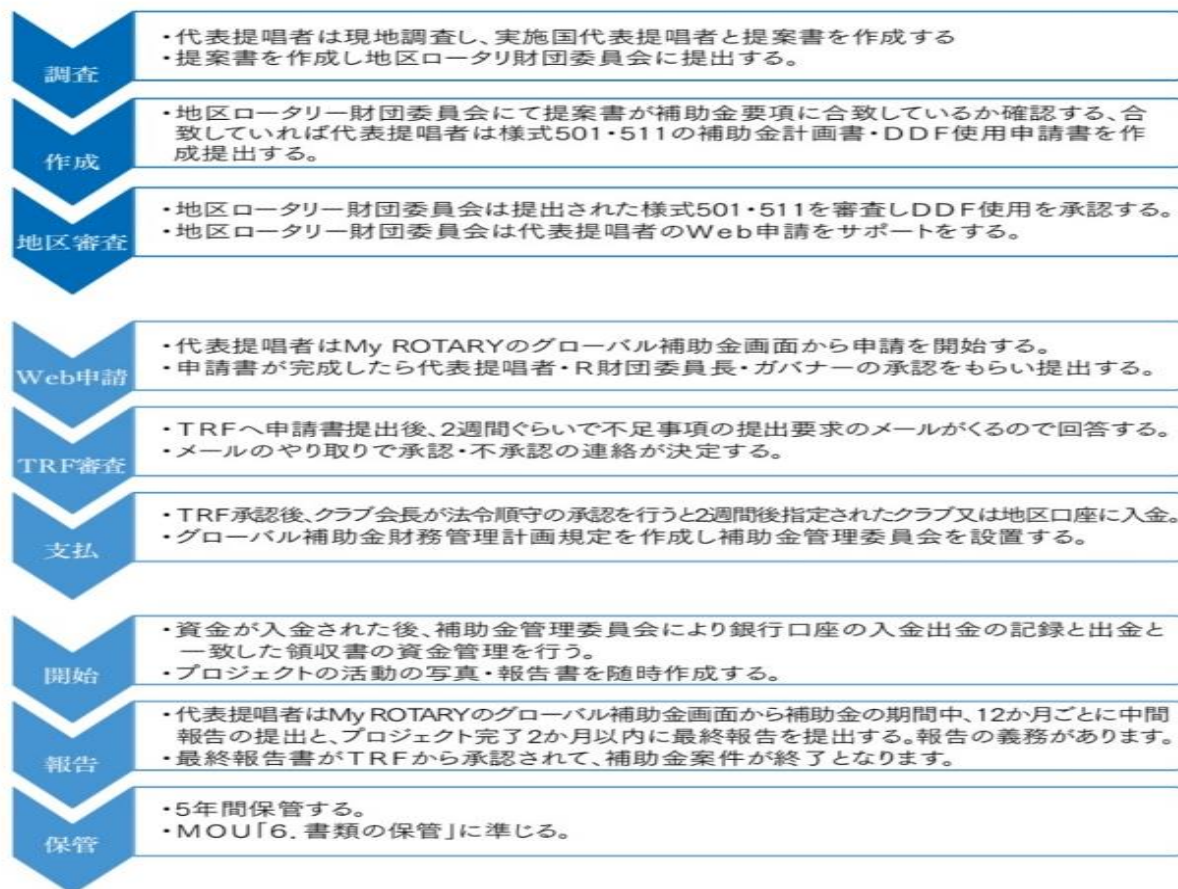
グローバル補助金の申請から報告の流れについて財団、地区、クラブの役割を図式で示しました。



立案から報告までの流れ

4-3-5) グローバル補助金 (GG) の立案から報告までの流れ

グローバル補助金の申請は年間通じて随時提出することができます。
プロジェクトの立案から報告までの流れを示します。



グローバル補助金当地区の実績

4-3-6) グローバル補助金 (GG) の当地区の実績

当 2790 地区も初年度から人道的プロジェクト 7 件、奨学金 4 件が下記の通り完了・進行中です

クラブ名	実施国	活動名	主な重点分野
茂原 RC	台湾	山間部医療バスプロジェクト	疾病予防と治療
市原中央 RC	インドネシア	きれいな水プロジェクト	水と衛生
第 2790 地区	モンゴル	感染予防プロジェクト	疾病予防と治療
千葉南 RC	韓国	障害者 IT 専門教育プロジェクト	経済と地域社会の発展
勝浦 RC	スリランカ	清潔な水プロジェクト	水と衛生
習志野 RC	フィリピン	雨水を利用したトイレと衛生教育プロジェクト	水と衛生
市原中央 RC	台湾	障害者自立教育プロジェクト	経済と地域社会の発展
松戸東 RC	アメリカ	グローバル補助金奨学金	経済と地域社会の発展
第 2790 地区	フランス	グローバル補助金奨学金	平和と紛争予防・紛争解決
千葉 RC	イギリス	グローバル補助金奨学生	経済と地域社会の発展
柏 RC	オーストラリア	グローバル補助金奨学生	基本的教育と識字率向上

2018 年度 7 月以降の変更点

2018 年 7 月 1 日より、人道的プロジェクトまたは職業研修チームのためのグローバル補助金を申請するクラブまたは地区は、まず地域社会の調査を行い、その結果を申請書に含めることが義務づけられることとなりました。地域社会の強み、弱み、ニーズ、リソースを調べることは、効果的なプロジェクト立案に欠かせない第一歩です。

地域社会の調査は、意義ある成果をもたらす上で重要であるだけでなく、調査のプロセスを通じて、地域を形づくる決定に住民が関与し、地域の改善に取り組む意欲を引き出すことができます。一番大切なのは、地域住民の関与が促し、プロジェクトの持続可能性を高めることです。

なお、地域社会調査にかかる費用を賄うために、地区補助金の資金を活用することができます。

韓国東仁川「障害者支援事業」



韓國東仁川「障害者支援事業」



韓国東仁川「障害者支援事業」



韓国東仁川「障害者支援事業」

